

# JFA第42回全日本U-12サッカー選手権大会北海道札幌ブロック大会

## 開催要項

1. 主 旨 日本を将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。この趣旨を受けて、JFA第42回全日本U-12サッカー選手権大会 北海道大会に札幌ブロック代表として出場するチームを決定する。
2. 名 称 JFA第42回全日本U-12サッカー選手権大会北海道札幌ブロック大会
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会
4. 主 管 一般社団法人札幌地区サッカー協会、札幌市サッカースポーツ少年団連盟
5. 後 援 一般財団法人札幌市体育協会、札幌市サッカースポーツ少年団連盟後援会
6. 特別協賛 YKK(株)、花王(株)
7. 協 賛 日本マクドナルド(株)、(株)日清製粉グループ、日清オイリオグループ(株)、ゼビオホールディングス(株)
8. 期 日 平成30年9月24日(月祝)
9. 会 場 札幌サッカーアミューズメントパーク(SSAP)
10. 参加資格
  - (1) 「参加チーム」は大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)であること(準加盟チームを含む)。
  - (2) 上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続して活動していること。
  - (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
  - (4) この大会の札幌ブロック予選から北海道予選に至るまで、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」へ移籍後、再び大会に参加することはできない。
  - (5) 第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。但し、地区大会から北海道大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟登録チーム」で再び参加することはできない。
  - (6) 6年生が9名以上いる場合は、同一チームから複数エントリーが可能である。その場合、それぞれのエントリーチームに有資格の指導者、帯同審判員の登録を必要とし、選手の入替えが行われないう、エントリー用紙の提出を義務付ける。  
\*U-6の参加は認めない。
  - (7) 出場チームは(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。但し、写真添付により、顔の確認できるものであること。  
\*選手証とは、WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
  - (8) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、内1名以上が(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
  - (9) 参加選手はスポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。
  - (10) 上位4チームは、JFA第42回全日本U-12サッカー選手権大会 北海道大会[10月6日(土)~10月8日(月祝)・苫小牧]の参加を義務付ける。
  - (11) リーグ戦上位チームにはシード権を与える
11. 参加チーム (1) リーグ戦上位64チームによる札幌地区プレーオフを勝ち上がった16チーム。
12. 大会形式 (1) 札幌地区代表16チームによるトーナメント方式とする。(4ブロック)
13. 競技規則 公益財団法人日本サッカー協会制定「サッカー競技規則2017/2018」および「8人制サッカー競技規則」による。
14. 競技のフィールド
  - (1) フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mを基本とする。
  - (2) その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。

- (3) ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。  
※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。
15. 試合球 少年用公認4号球を使用する。モルテン社製『ヴァンタッジオ5000キッズ(F4V5000-R4号球)未定』とする
16. 競技者の数および交代
- (1) 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
  - (2) 登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。(16名登録のフリー交代)
  - (3) 交代の手続き
    - ①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
    - ②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
    - ③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。但し、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
    - ④交代について、主審・補助審判の承認を得る必要はない。
  - (4) ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
17. 競技者の用具
- (1) ユニフォームは公益財団法人日本サッカー協会に登録されたものを原則とする。
  - (2) 上衣、パンツ、ソックスは正のほかに副としてこれと異なる色の上衣、パンツ、ソックスを携帯すること。
  - (3) 審判と類似の色の上衣を用いることはできない。
  - (4) 選手番号を付する場所及びサイズは、原則として次のとおりとする。  
背中の番号の大きさは、高さ25cm程度、横はこれに比例して適当な大きさで背番号は見やすいものとする。また、ユニフォームの縞(縦縞、横縞)の上衣には無地(縦25cm、横25cm位)に背番号を付けわかりやすくする。
  - (5) 前面の番号は、右側、左側または中央に高さ10cm程度のものとする。
18. テクニカルエリア
- (1) テクニカルエリア(ベンチ)に入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導者4名とする。
  - (2) その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
19. 審判員 審判は主審・副審(2)、四審の4名で行う。
20. 試合時間
- (1) 試合時間は40分(20分-5分-20分)とする。
  - (2) 勝敗の決定しない時は、いわゆるPK方式(3人)により次回進出チームを決定する。代表決定戦(各ブロック決勝戦)においては、10分(5分-5分)延長し、なお決しない時はPK方式(3人)により決定する。
21. 懲罰
- (1) 本大会の予選は懲罰規程上の同一の競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
  - (2) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
  - (3) 大会規律委員会の委員長は、札幌地区第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。
  - (4) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
  - (5) 本大会期間中において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については本大会規律委員会において決定する。  
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
  - (6) 本大会諸規定および本記載事項にない事項に関しては、大会規律委員会にて決定する。
22. 参加申込
- (1) 参加申込書・プライバシーポリシー同意書の提出
  - (2) 大会参加費の納入
  - (3) 親権者同意書の提出
  - (4) 選手の変更・追加登録は、9月14日(金)までに届け出ること。
  - (5) 参加申し込み締め切り 9月1日(土)17:00  
\*(一社)札幌地区サッカー協会を通じて(公財)北海道サッカー協会へ申込手続きが行われる。

23. 参加料 3,000円
24. 組合せ 未定
25. 帯同審判員 (1) 出場チームは、公益財団法人日本サッカー協会登録審判員を帯同させること。  
(2) 帯同審判は、大会期間中審判業務に当たらせるものとする。
26. 監督会議 リーグ戦最終日9月1日(土) 19時00分から 場所 北海きたえーる
27. 開会式 平成30年4月29日(日)9時より、札幌厚別公園競技場で行う。選手・監督は全員参加すること。参加しない選手は大会への参加を停止することもある。
28. 閉会式 9月24日(月)決勝戦終了後  
場所 札幌サッカーアミューズメントパーク(SSAP)
29. その他 (1) 札幌市サッカースポーツ少年団連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。  
(2) 試合開始1時間前に選手証と大会エントリー表・メンバー表の確認、試合開始30分前に、ユニフォームのチェックを義務づける。  
(フィールド・キーパー正副4着持参すること)  
(3) 荒天・震災・雷等不測の事態が発生した場合は、本大会運営委員会(札幌地区サッカー協会理事長・競技委員長・審判委員長などで構成)において、協議の上、対応する。

以上